

授業科目名	卓球		授業形態	実技		授業科目区分		専門科目 (関連実技科目)	
担当教員名	濱田 幸二・高橋 仁大					補助担当者名			
単位数	1 単位		履修年次	3年次		受け入れ人数		40名程度	
授業の概要	卓球の特性を理解し、基本的な技術を学びながら、瞬間的な判断力と反応が出来るように反射神経と敏捷性及び集中力を養う。基本技術の習得により、攻撃の組み立て方、試合の組み立て方などの戦術も学ぶ。ルールを理解し審判も出来るようになり、最後には団体戦（シングルスとダブルス）及び個人戦（シングルス）の大会（リーグ戦）が出来るようになる。								
授業の到達目標 及び成績評価の 方 法	授業の到達目標		成績評価の方法						
			授業期間				定期 試験	その他	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表			
	■認知的領域	ルールが理解できる。基礎技術の名称など専門用語が説明できる。	○						10
	■情意的領域	積極的に授業へ参加し、試合を数多く行い、技術及び戦術の習得に意欲的に取り組む。	○		○	○			60
■技能的領域	シングルス、ダブルスの戦術を身に付ける。ラリーを一定回数、一定時間継続出来る。	○	○			○		30	
成績評価の基準	出席状況は最低2/3以上の出席が必須であり、実技試験で合格することが単位認定の条件になる。授業への取り組み状況及び、レポート等の提出状況は単位認定条件に加点する。								
テキスト、教材 参 考 書	随時、資料を配付する。								
履修条件・ 関連科目			備考(教員メッセージ含む)		1. 欠席届は必ず本人が提出するように。 2. 本講義では、学生への教育的効果を高めるために、授業実施の様子をビデオカメラ等で撮影することがあります。なお、撮影した映像は、原則として学内での教育・研究活動にのみ使用します。 3. タブレットは必ず持参すること。				
オフィス・アワー	随時 808教員室（濱田）・806教員室（高橋）								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	濱田 幸二 高橋 仁大	オリエンテーション、用具になれる				各班及び各自で反省レポート提出			
2	〃	卓球の特性・基本フォーム				各班及び各自で反省レポート提出			
3	〃	基本ストローク（フォアハンドサービス・フォアハンドロング）				各班及び各自で反省レポート提出			
4	〃	基本ストローク（バックハンドサービス・バックハンドショート）				各班及び各自で反省レポート提出			
5	〃	カットサービス・ショートカットレシーブ				各班及び各自で反省レポート提出			
6	〃	横回転サービス・変化球サービスのレシーブ				各班及び各自で反省レポート提出			
7	〃	スマッシュ・フットワーク				各班及び各自で反省レポート提出			
8	〃	3球目攻撃・攻撃の組み立て方				各班及び各自で反省レポート提出			
9	〃	シングルスゲームの仕方（ルールと審判法）				各班及び各自で反省レポート提出			
10	〃	ダブルスのサービスとレシーブ				各班及び各自で反省レポート提出			
11	〃	ダブルスのフットワーク				各班及び各自で反省レポート提出			
12	〃	ダブルスゲームの仕方（ルールと審判法）				各班及び各自で反省レポート提出			
13	〃	シングルス大会				各班及び各自で反省レポート提出			
14	〃	ダブルス大会				各班及び各自で反省レポート提出			
15	〃	団体戦トーナメント戦 総合実技 まとめ				各班及び各自で反省レポート提出			
16	〃	学期末試験							